

CONTENTS

COMBAT

2015.May.
No.470

5

Cover Design
Favorite Graphics Inc.
Cover Photo
Tomo Hasegawa
WORLD PHOTO PRESS 2015

※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です。



【第1特集／バイオハザード】
バイオハザード リベレーションズ2

006 サムライエッジの系譜

- 006 東京マルイ SAMURAI EDGE Barry Burton MODEL Ver.II
- 010 サムライエッジ バリーモデルはどう変わった?
- 012 『バイオハザード』の世界を美酒と美食で堪能しよう CAPCOM BAR
- 013 『バイオハザード リベレーションズ2』プレミアム発表会 新たな『バイオハザード』の恐怖を体験

【第2特集／ミリタリー】

014 月刊・自衛隊 につぼんのちからこぶ

●取材：菊池雅之

040 The Equipments of the U.S. Force [現用米軍装備カタログ]

1990年代特殊部隊装備特集Part.1 ハーネスで特殊部隊装備を組んでみよう!
●解説：松原隆 ●撮影：山崎 学

054 ショットショー シューティングデモ INDUSTRY DAY AT THE RANGE

●Photos&Text by Tomo Hasegawa

074 NEW GENERATION STYLER

ポーランド対テロ特殊部隊 JW2305 GROM
●fujiwara

085 Militaria Roundup! アメリカ陸軍 アーミー・グリーン・ユニフォームPart.1

●解説：菊月俊之

【第3特集／トイガン&サバゲ】
カッコつけて、行こうぜ。

018 GEARLOG従軍記

●写真：小林邦寿 ●文：編集部

026 WESTERN ARMS 1056ミニ・ガバメント〈世田谷ベース・モデル〉

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

031 WESTERN ARMS WA/M16A4 フルメタル・カスタム《スナイパー・ライフル》

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

036 CWA「マイズファクトリー」 MAD MAX Wood Stock Version

●Photos&Text by Taku



145 KNIFE

- 146 相田義人のインテグラル・ナイフの製作工程Part.I
- 150 ラブレスナイフ・コレクション
- 152 マーカス・リン ～ラブレススタイルナイフの継承者～
- 156 スタッフ通信 from Knife Magazine Staff



004 COMBAT FRONT LINE

050 Goods & Accessory

068 トイガンニュース

- 068 WA TIタクティカル5.0〈ヴィッカーズ・バージョン〉
- 069 WA S&Wショーティ.40〈PCカスタム／ブラック・バージョン〉
- 070 東京マルイ MP7A1 タンカラー
- 071 CAW デトニクス ステンレスシルバーモデル
- 072 タナカ S&W M500 3インチ+1 Ver.2ステンレス・モデル
- 073 タナカ Colt S.A.A.4 ¾インチ HW

084 サーいじ技研

096 PRESENT

- 130 FEAR NOT THE DARK…… Power of Light SURE FIRE act06 ウェポンライトPart.3 小型&強力な必携ウェポンライト X300 ULTRA ●Photo & Text Tomo Hasegawa

- 134 走って撃って楽しんで サバゲ放浪記 ゆい散歩 其の5 千葉編 ●取材：上矢ゆい

136 PROJECT NINJA

●morizo(東京装備BAKA)

140 兵装嗜癖

●fujiwara

200 中田商店グッズ

202 S&Grafグッズ

- 097 ふれんどりっファイヤー!
- 105 GAME OVER THE TOP
- 108 ミリタリー雑学講座
- 112 蛙のゆびさき(中山 蛙)
- 114 OPERATION Junk food
- 116 アメリカGUN事情 Guns Talk from US
- 118 世界最大規模の軍事見本市 IDEX 2015
- 124 トイガンズジャンクション
- 177 バックナンバーリスト
- 178 帰ってきた 狩野健一郎の [監督、そこにおっぱいは必要ですか!]
- 180 レア・ミリタリー・テクノロジー
- 182 A STITCH IN TIME
- 183 狩野健一郎のシネマ放浪記
- 184 戦車兵通信 WORLD OF TANKS
- 186 物欲ワンホール
- 190 コンバットマガジン・インフォメーション・センター
- 191 読者プレゼント応募方法
- 192 編集後記





チヌークから降着後、付近を警戒する米海兵隊員。かまえているのはM27IARだ。M246分隊支援火器の後継として配備が進んでいる。軽機銃型よりも小銃型の方が取り回しやすく誰でも扱えるという利点がある。

CH-53Eから降り立った第21普通科連隊の迫撃砲小隊。パーツごとに分解した81mm迫撃砲を抱えている。白いテープで小銃をグルグル巻きに、簡易の迷彩を施している。よく見ると従来の戦術防弾チョッキと防弾チョッキ2型を着用している隊員が混在している。

『雪国の自衛隊』と『南国の海兵隊』

秋から年を跨いで春の訪れまでの間は、知る人ぞ知る日米共同訓練シーズンなをご存じだろうか？ 先月号の本連載において大矢野原演習場（熊本県）で実施した陸自と米海兵隊による共同訓練「Forest Light（フォレストライト）」をお送りした。あれから約2ヵ月後一。

1月28日から2月8日の間に、岩手山演習場（岩手県）において、「フォレストライト02」が行なわれた。日本側の正式訓練名は、「平成26年度国内における米海兵隊との実働訓練・その2」である。

日本側の訓練担任官が第9師団長、米側訓練担任官が第3海兵師団長。訓練部隊は、日本側が第21普通科連隊1個中隊基幹250名、米側が第4海兵連隊第1大隊1個中隊基幹270名。東北方面隊と米海兵隊との実働訓練は6年ぶり11回目となる。

今回の訓練の目的は、「積雪寒冷地における日米共同要領（積雪寒冷地の行動、第一線救護、市街地戦闘、陣地攻

平成26年度2回目となる米海兵隊との日米共同訓練が行なわれた。先月号でもお伝えした「フォレストライト」演習の第2幕となる訓練。岩手山の麓の豪雪エリアへと訓練場所をかえ、日米隊員たちは雪原を駆け回った！

日米共同訓練

FOREST LIGHT 2

Part

所ジョージ/WESTERN ARMSコラボレーション “世田谷ベース制式装備品”シリーズ第2弾!!

1056 MINI GOVERNMENT

SETAGAYA A.F. BASE MODEL

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY
●協力: 所ジョージ・世田谷ベース



1056ミニ・ガバメント (世田谷ベース・モデル)

- 全長: 約183mm
- 銃身長: 約73mm
- 重量: 約376g
- 装弾数: 19+1発
- 価格: 36,000円(+税)
- 3月19日より発売

所さんお気に入りの
「ロード・ストロー
ラー・メダリオン」。

驚きのコレクションアイテム第2弾登場!!

大きなガバメントを小さく?

「小さいガバって、いいんじゃない?」
という所さんのひと言でスタートした
1056ミニ・ガバメント。WAは、オフィ
サーズACPタイプのコンパクト・モ
デルではなく、本当に小さくしたガバ
メントを作ることにこだわった。

スライド右側には世田谷A.F.ベ
ースのトレード・マーク。フレームに
は、世田谷ベース制式装備品の刻印と
1056のシリアル・ナンバーが刻印さ
れている。

「エアソフトガンがトイガンの中心に
なって、かれこれ30年あまり。パワー
にはハッキリと線が引かれているし、
集弾性に関しては、各社それぞれトッ
プレベルに達している。この先トイガ
ンでどう楽しんでもらえばいいのか?

それを考えていく中で、所さんの感
性がひとつの答えになるかもしれない
と感じたんです。所さんは、モデルガ
ンの時代からトイガンで徹底的に遊ん



「ミニ・ガバメント。いい
でしょ〜」と、プロトタ
イプを手に大満足の所
ジョージさん。

(写真提供: 所ジョージ/世田谷ベース)

海兵隊 FORCE RECON 強襲上陸装備

'90年代中期、ゾディアックボートで上陸する場合のライフルマン装備。M16マガジンポーチX4、1QT×2（体力のある兵士なら4個）、Yサスペンダー&ブツバック。ホルスターはM9用サファリランド3004カイデックスホルスターだ。ナイフはガーバー社LMF。

'90年代

のサスペンダー装備

NAVY SEALsの1990年代装備前期はABA（アメリカン・ボディー・アーマー）社、PT社、AOA（アーマー・オブ・アメリカ）社・EAGLE industries、LBT社、BHI（ブラックホーク社）を中心としたナイロン製造メーカーの新日転換時期でもあった。後期になるとABAやPT、AOAの特殊部隊装備参入が薄まり、SPEARシステムの導入でサファリランド社がVEST装備に参入してくる。2000年以降はアパレル業界も参入し現在に至っている。今回は'90年代の代表的なALICE装備と当時の各社アイテムを組み合わせ再現している。

'80年代はコットンのHサスペンダーや1QT（クオート）水筒ケース等、ヴェトナム戦争でお馴染みの装備をSEAL隊員が使っていたりしている。'90年代はそれにナイロンLC-1&2が混じり、さらには各社製品が追加され特殊部隊ならではの魅力のある装備の兵士達が形成されていく。資料画像を見るだけでは選択メーカーもかなりの自由な選択が許されているようだ。今回は'90年代のサスペンダー装備と称して入手が比較的可能で安価な装備を中心に紹介していこう。[LBT、BHI製品は入手困難と思われるが、ネットやオークションで検索してみるとまだまだ日本国内の方が購入しやすいようだ。

The Equipments of the U.S. Force

[現用米軍装備カタログ] 第128回

1990年代特殊部隊 ハーネスで特殊部隊

装備特集Part.1 装備を組んでみよう!

- 解説: 松原 隆
- 撮影: 山崎 学
- 協力ショップ: LAZY CAT (<http://lazycat.jp/>)
/TRi.S (旧・特小工房 <http://tri-ss.com/>)
- 参考資料: US NAVY (<http://www.navy.mil/>)
<http://www.navy.mil/>)



知られざる超エリート集団
ポーランド対テロ特殊部隊

JW2305

GROM

NEW GENERATION STYLER

Photo & Text : fujiwara [Dazzled Eyes Designs.]

#09

JanySport 装備キット
【各種ポーチ類編】